

秋田県の農林水産業の概要

特徴・取組

秋田県の総面積は約116万haで、その72%に当たる約84万haが森林、13%に当たる約15万haが耕地として利用されている。耕地面積は全国第6位で、特に雄物（おも）川や米代（よねしろ）川などの主要河川流域の盆地や海岸平野に広大で肥よくな耕地が開け、農業に適した条件となっている。

気候は、典型的な日本海岸気候で、冬期間の積雪寒冷気候が農業振興を図る上で大きな制約となっている。一方、夏期は梅雨が短く比較的冷涼であるため、野菜や花きの生産に好適であるとともに、水稻生育期間中は気温が十分に確保され気温の日較差も大きく、米づくりに向いた気候となっている。

秋田県の県内総生産（令和4年度）は、第1次産業が962億円（2.7%）、第2次産業が10,315億円（28.4%）、第3次産業が25,197億円（69.4%）となっている。

また、農業産出額（令和6年）は、総額2,572億円で、東北で5位、全国で16位となっており、うち米が1,652億円で全体の64%を占めている。

令和7年の経営耕地面積は145千ヘクタールで全国5番目の広さで、そのうち田は127千ヘクタールと、北海道、新潟県に次ぐ規模である。

水稻を中心に大豆などの土地利用型作物の生産に取り組むとともに、園芸メガ団地の整備等、園芸作物の振興により、収益性の高いねぎ、花き、しいたけ等の生産にも取り組んでいる。

農業従事者の高齢化が進み、基幹的農業従事者の平均年齢が68.4歳（2025年センサス概数値）と高いが、担い手への農地集積が進み、令和7年度末時点の集積率は全国的にも高い水準になっている。

秋田県では、農林水産業が魅力的な地域産業として発展できるよう、新たな農林水産行政運営指針「あきた農林水産ビジョン」を令和8年4月に策定した。新たな指針に基づき、農業については、多様な担い手が新たな技術の活用等により、収益性の高い持続可能な農業を実現し、我が国の食料安全保障を担う食料供給基地としての役割を果たしていくとしている。

林業・木材産業については、脱炭素社会の実現に向け、「伐（き）って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を促進し、成長産業化と森林の有する多面的機能の維持・発揮を推進するとしている。

水産業については、地球温暖化による海洋環境に対応した漁法への転換や操業の効率化、蓄養殖ビジネスを推進し、持続的な発展を目指している。

主な農林水産物

米

新品種の「サキホコレ」は全国トップブランドとしての地位確立を目指す。主力品種「あきたこまち」作付面積は7割を占める。（収穫量全国3位）



ねぎ

園芸メガ団地主力品目。山本地域を中心に生産。「白神ねぎ」「秋田美人ねぎ」のブランドで秋頃をピークに出荷している。（収穫量全国8位）



えだまめ

日本一を目指して、生産者、関係機関が一体となって生産を振興。品種の組合せによる長期出荷（7～10月）を実施。（収穫量全国5位）



アスパラガス

園芸振興に向けた主力品目として、全県において露地、半促成栽培の組合せにより3～10月と長期間出荷が行われている。（収穫量全国10位）



りんどう

中山間地を中心に夏場の冷涼な気候を生かし、オリジナルブランド「秋田りんどう」は出荷期を調整して生産を拡大。（出荷量全国2位）



しいたけ

降雪の多い県内でも周年生産できる品目。京浜中央卸売市場「販売三冠王」を6年連続で獲得。（生しいたけ生産量全国5位）



りんご

県南部、県北部を中心に生産しており、県オリジナル品種「秋田紅あかり」などの導入を進め、産地化や輸出を推進。（収穫量全国6位）



すぎ

秋田すぎの天然林は、日本三大美林の一つ。人工林面積は全国一を誇り、間伐や再造林を促進し、成長産業化を図る。（生産量全国2位）



比内地鶏

県を代表する特産品。食文化の維持や食産業振興の観点からも重要な品目。北秋田地域を中心に令和6年は、43.2万羽を出荷。



はたはた

重要魚種。漁獲量は減少傾向にあるが、水揚げ日数の制限などにより資源管理をしている。（漁獲量全国6位）



秋田県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】 水稻、大豆、ねぎ、えだまめ、そば、肉用牛、乳用牛、豚

【林産物】 すぎ、しいたけ、わらび

山本地域

【農畜産物】 花みょうが、ミニトマト、アスパラガス、キャベツ、うど、じゅんさい、りんどう、きく、比内地鶏

【林産物】 まいたけ、ねまがりたけ

【水産物】 はたはた、あまだい、あわび、うすめばる、たら

秋田地域

【農畜産物】 メロン、キャベツ、かぼちゃ、たまねぎ、日本なし、ぶどう、きく、ダリア、いちじく、鶏卵

【林産物】 まいたけ

【水産物】 はたはた、あまだい、たら、あわび、ふぐ、しらうお、わかさぎ

由利（ゆり）地域

【農畜産物】 アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、さやいんげん、かなかぶ、いちじく、りんどう、きく、ばら、トルコギキョウ、比内地鶏

【林産物】 ぶなしめじ、ねまがりたけ

【水産物】 はたはた、あまだい、たら、あわび、ずわいがに

雄勝（おがち）地域

【農畜産物】 すいか、トマト、きゅうり、ひばり野オクラ、せり、おうとう（さくらんぼ）、りんご、ぶどう、関口（せきぐち）なす、ひろっこ（あさつきの若芽）、平良（たいら）かぶ、ストック、トルコギキョウ、きく、りんどう、鶏卵

【林産物】 ねまがりたけ

鹿角（かづの）地域

【農産物】 きゅうり、トマト、アスパラガス、松館（まつだて）しぼり大根、りんご、もも、ゆり、トルコギキョウ、きく

【林産物】 ねまがりたけ

北秋田地域

【農畜産物】 きゅうり、やまのいも、にんにく、ホップ、アスパラガス、大館とんぶり、りんご、日本なし、ダリア、比内地鶏、鶏卵

【林産物】 からまつ、ねまがりたけ

仙北（せんぼく）地域

【農畜産物】 トマト、アスパラガス、きゅうり、ほうれんそう、りんどう、きく、トルコギキョウ、ダリア、ケイトウ、鶏卵、比内地鶏

平鹿（ひらか）地域

【農畜産物】 すいか、きゅうり、トマト、アスパラガス、ほうれんそう、さといも、食用ぎく、ホップ、りんご、ぶどう、おうとう（さくらんぼ）、山内（さんない）にんじん、きく、トルコギキョウ、ゆり、鶏卵

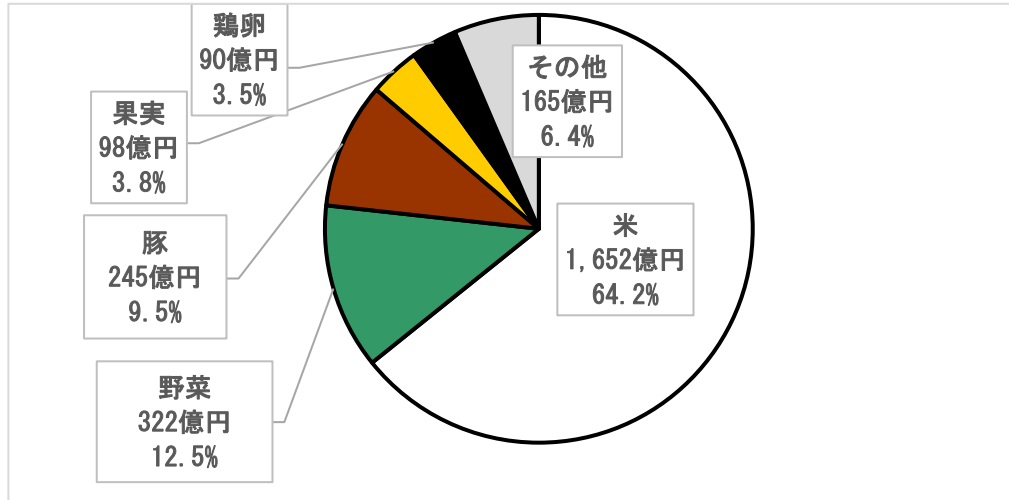
【林産物】 ぶなしめじ



秋田県の農業（1）

- ・農業産出額は2,572億円（100.0%）で全国16位。うち米が1,652億円（64.2%）、野菜が322億円（12.5%）、畜産が438億円（17.0%）。
- ・農畜産物の生産状況は、りんどう、ホップが全国2位、水稲、大豆が3位、おうとうが4位、えだまめが5位、りんごが6位、そばが7位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	秋田県	全国	全国順位
水稲	収穫量	R7 513,900 t	7,790,000 t	3
大豆	収穫量	R6 11,300 t	252,400 t	3 *
そば	収穫量	R6 2,030 t	40,400 t	7 *
えだまめ	収穫量	R6 4,050 t	58,200 t	5
ねぎ	収穫量	R6 14,400 t	399,200 t	8
アスパラガス	収穫量	R6 1,060 t	22,300 t	10
りんご	収穫量	R6 18,600 t	609,200 t	6
おうとう	収穫量	R6 250 t	11,500 t	4
りんどう	出荷量	R6 7,800 千本	68,300 千本	2
ホップ	生産量	R7 38 t	121 t	2

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「ホップに関する資料」

農業産出額のデータ

区分	秋田県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,572 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	16
米	1,652 億円 (64.2)	25,524 億円 (23.7)	3
麦類	0 億円	582 億円	21 *
雑穀	5 億円	87 億円	7
豆類	14 億円	621 億円	4
いも類	8 億円	2,565 億円	28
野菜	322 億円 (12.5)	25,510 億円 (23.7)	26
果実	98 億円 (3.8)	10,112 億円 (9.4)	23
花き	25 億円	3,423 億円	38
工芸農作物	3 億円	1,577 億円	27
その他作物	6 億円	583 億円	26 *
畜産	438 億円 (17.0)	36,654 億円 (34.0)	24
肉用牛	57 億円	7,861 億円	32
乳用牛	27 億円	10,035 億円	36
生乳	26 億円	8,937 億円	36
豚	245 億円	7,567 億円	12
鶏	104 億円	10,170 億円	29
鶏卵	90 億円	5,764 億円	21
ブロイラー	- 億円	4,259 億円	- *
その他畜産物	5 億円	1,021 億円	11
加工農産物	0 億円	565 億円	39

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「0」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

秋 田 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は14万5,600haで全国6位。うち田が12万7,700ha、畑が1万7,800ha。
- ・農業経営体数は2万1,729経営体で全国17位。うち法人経営体数が874経営体で9位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は7,923経営体で全国6位。うち法人数が900法人で6位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売(売上)金額が4,800万円です。全国22位、農業経営体数は20経営体で7位。

耕地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
耕地面積	145,600 ha	4,272,000 ha	6
田	127,700 ha	2,319,000 ha	3
畑	17,800 ha	1,952,000 ha	23
普通畑	11,900 ha	1,118,000 ha	20
樹園地	2,040 ha	248,600 ha	35
牧草地	3,890 ha	585,900 ha	8
参考) 総土地面積	11,637.69 Km ²	377,979.74 Km ²	6

出典:「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	441 ha	256,667 ha	45

出典:「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農業経営体数	21,729 経営体	836,054 経営体	17
法人経営体数	874 経営体	33,819 経営体	9
総農家数	28,359 戸	1,394,135 戸	23
販売農家数	20,659 戸	792,808 戸	17
参考) 世帯総数	385,187 世帯	55,830,154 世帯	40
集落営農数	739 集落営農	13,952 集落営農	3

出典:「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	104,287 ha	2,627,068 ha	3
集積率	71.6 %	61.5 %	3

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	24,153 人	1,036,228 人	19
男	16,337 人	659,332 人	19
女	7,816 人	376,896 人	23
65歳以上	18,009 人	721,311 人	20
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	74.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	7,923 経営体	212,136 経営体	6
法人数	900 法人	29,684 法人	6
参考) 人口総数	959,502 人	126,146,099 人	38

出典:「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売(売上)金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	7,001 百万円	1,006,107 百万円	39
	事業体数	630 事業体	26,910 事業体	17
農産物直売所	総額	11,757 百万円	1,134,381 百万円	42
	事業体数	400 事業体	20,960 事業体	24
観光農園	総額	149 百万円	39,113 百万円	42 *
	農業経営体数	30 経営体	4,350 経営体	37
農家民宿	総額	48 百万円	4,933 百万円	22 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	424 百万円	39,900 百万円	32 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典:「令和6年度6次産業化総合調査結果」

秋 田 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は157.0億円で全国9位。うち木材生産が119.8億円、栽培きのご類生産が36.7億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国4位、すぎが全国2位、ねまがりたけが4位、生しいたけが5位、からまつが7位。

林業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業産出額	157.0 億円	4,769.8 億円	9
木材生産	119.8 億円	2,369.4 億円	6
栽培きのご類生産	36.7 億円	2,322.7 億円	19

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,098 千m ³	19,763 千m ³	4
針葉樹	1,058 千m ³	18,398 千m ³	4
すぎ	1,015 千m ³	11,716 千m ³	2
からまつ	26 千m ³	1,733 千m ³	7
広葉樹	40 千m ³	1,365 千m ³	10
生しいたけ	生産量 3,590 t	61,959 t	5
ねまがりたけ	生産量 5 t	63 t	4
わらび	生産量 13 t	596 t	9
木質粒状燃料	生産量 5,151 t	151,868 t	8 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林野面積	831,845 ha	24,744,214 ha	6
国有林	370,353 ha	7,117,059 ha	4
民有林	461,492 ha	17,627,155 ha	11
人工林面積	404,052 ha	10,059,386 ha	4

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業経営体数	710 経営体	23,300 経営体	11
法人経営体数	125 経営体	3,813 経営体	7

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
製材工場数	71 工場	3,547 工場	23
製材用素材の入荷があった工場数	71 工場	3,492 工場	22
国産材のみ	69 工場	3,013 工場	19
国産材と輸入材	2 工場	386 工場	32

出典：「令和6年木材統計」

秋 田 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は25億円で全国38位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のはたはた、べにずわいがにが全国6位、海面養殖業のこんぶ類が6位、内水面漁業のわかさが2位
- ・ 漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が5億円で全国23位、事業体数は10事業体で18位。

漁業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	25 億円	14,785 億円	38
海 面 漁 業	24 億円	8,894 億円	35 *
海 面 養 殖 業	0 億円	5,891 億円	34 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	476 経営体	65,662 経営体	34
内水面漁業経営体数	98 経営体	4,076 経営体	11

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	630 人	121,389 人	38
男	606 人	109,757 人	38
女	24 人	11,632 人	34

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
漁船隻数	613 隻	109,284 隻	33
動力漁船	263 隻	58,907 隻	38

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	4,393 t	3,589,121 t	36 *
海面漁業漁獲量	4,251 t	2,786,195 t	37
はたはた	16 t	1,427 t	6 *
べにずわいがに	812 t	12,345 t	6 *
海面養殖業収穫量	142 t	802,927 t	35 *
こんぶ類	5 t	24,554 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	194 t	47,046 t	28 *
内水面漁業漁獲量	164 t	17,915 t	11
わかさが	132 t	603 t	2
内水面養殖業収穫量	30 t	29,131 t	37
あゆ	10 t	3,487 t	18

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	177 百万円	193,147 百万円	35
	事業体数	10 事業体	1,160 事業体	24
水産物直売所	総額	479 百万円	34,259 百万円	23 *
	事業体数	10 事業体	780 事業体	18
漁家民宿	総額	38 百万円	5,440 百万円	23 *
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体	30
漁家レストラン	総額	- 百万円	13,511 百万円	- *
	事業体数	- 事業体	380 事業体	-

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

秋田県の農林水産業の話題等（1）

令和6年農業産出額は対前年増加率全国トップ

令和6年農業産出額は、2,572億円で前年に比べ793億円増加し、全国順位は16位、対前年増加率は全国トップの44.6%となった。

内訳別では、米が1,652億円で前年に比べ714億円増加したほか、米以外の産出額が920億円となるなど、平成4年以来の高い水準となった。

増加の主な要因としては、米・野菜等価格が上昇したことに加え、複合型生産構造への転換に向けた取組や、果樹雪害や大雨被害からの着実な復旧により、産出額全体を押し上げた。

令和6年生産農業所得は、976億円で前年に比べ450億円増加し、全国順位は17位、対前年増加率は富山県の87.6%に次いで全国2位の85.6%となった。



コンバインでの稲の刈取り

「オール秋田」で農畜産物の輸出拡大を目指す

秋田県農畜産物輸出促進協議会「グローバルリーチAKITA」が米のフラッグシップ輸出産地の認定を受け、令和8年2月に認定証の授与式が行われた。本制度は、海外の規制やニーズに対応して継続的に輸出に取り組み、これから輸出に挑戦しようとする生産地の模範となる産地を認定するもので、制度が始まった令和6年に選出された「秋田牛輸出促進コンソーシアム」に続き県内で2件目の事例となった。

秋田県農畜産物輸出促進協議会は、県や市町村をはじめ、生産者団体やJAグループ等で構成され、産地・生産者の意識醸成、輸出業者の販路拡大、生産者による連携事業体の育成や低コストの米生産技術の確立に向けて令和7年8月に設立された。

設立総会に併せて「秋田県の輸出産地推進フォーラム」を開催したほか、米輸出事業者や関係機関で構成するワーキンググループで、輸出拡大に向けた事業計画の策定に取り組んでいる。

秋田県は、これまで個々の事業者が個別に取り組んでいた体制から、産地が一体となって、輸出に対応する生産体制を構築し、農畜産物の輸出額を令和6年度の8億8千万円から、令和11年度には、40億円まで拡大する目標を掲げている。



「フラッグシップ輸出産地認定証」授与式

秋田県の農林水産業の話題等（2）

農村RMO（農村型地域運営組織）の形成に向けた取組

秋田県では、人口減少や高齢化が進む中山間地域等において、農業生産のみならず、地域資源（農地・水路等）や生活環境（買い物・子育て等）など集落維持に必要な機能が弱体化してきており、農業生産と生活機能を維持するため、農村RMO（複数集落の機能を補完して地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織）の形成を積極的に推進している。

令和6年度に取組を開始した、藤里町の「ふじさと粕毛地域活性化協議会」では、乗用草刈機による省力化実証や監視カメラシステムを用いた鳥獣害（クマ等）対策を行っているほか、農家民宿のメニュー開発や「白神マイタケ」を活用したオリジナルカレーの開発に取り組んだ。

にかほ市の「麓のカラコ協議会」では、防草シートによる維持管理の省力化の実証に加え、ゲストハウスの宿泊メニュー開発や、地元産クロモジを活用したドリンク開発など地域資源を生かした活動を推進している。

令和6年度から取り組んでいる三種町の「下岩川地域づくり協議会」は、ドローンとデジタルマップによる農用地保全管理や新たなビジネス創出に向けた空き家活用のワークショップや遊休農地での「赤ささげ」の栽培実証を行っている。



第4回あきた南白神
農泊推進大会2025in藤里での
パネルディスカッション

夏秋ねぎの出荷量は6年連続全国第2位

秋田県の野菜生産は、えだまめ、ねぎ、アスパラガス、トマト、きゅうり、すいかを重点6品目として振興を図り、単収の底上げや品質向上に向けて取り組んでいる。

ねぎは其中で主力品目で、JAから「白神ねぎ」や「秋田美人ねぎ」のブランドで出荷しており、全国の指導者研修会や首都圏市場での品質査定会を開催し、規格や出荷資材の統一を進めてきた。

山本地域を中心にねぎ園芸メガ団地等の大規模園芸拠点の整備が促進され、また、機械化一貫体制の普及等により、全県域で栽培面積の拡大が進んでいる。令和6年9～10月の好天により、京浜中央卸売市場への夏秋ねぎ（7～12月）の出荷量は5,367トンと前年に比べて39%増加となり、夏秋ねぎの出荷量は、茨城県（6,338トン）に次いで、6年連続の全国2位となった。

令和6年度の系統販売額が34億円と、目標としていた30億円を達成し過去最高額となったほか、主産地であるJAあきた白神の「白神ねぎ」も初めて20億円を達成した。



ねぎの栽培ほ場